

宇美町商工会

経営発達支援計画事業評価報告書

令和6年11月6日

作成者 中小企業診断士事務所 ベストパートナー

代表 本多俊一

はじめに

令和6年8月29日（木）、9時30分より宇美町商工会会議室において、宇美町商工会の令和5年度の経営発達計画による支援事業の実施結果の説明を経営指導員 進藤（敬称略以下同）が行い、評価委員会委員が評価を行った。

今年度の宇美町商工会事業評価委員会は、委員長 中小企業診断士 本多俊一、副委員長 株式会社筑前福岡 伊東恵 宇美町役場 シティプロモーション課 課長 瓦田浩一、福岡県信用組合宇美支店 支店長 丹羽佑輔の4名で構成されている。委員会では、台風接近による荒天の中、進藤経営指導員からの事業内容の説明を受け討議が行われ、以下の意見が出され前年度および今年度の中間報告時点での反省及び改善が必要な点等の説明および意見が出され（後述）、各評価委員が後日評価を行い、報告にまとめることとした。以下は、評価委員会での討議内容及び評価結果をまとめたものである。敬称略以下同

議事

進藤指導員から委員に対し、経営発達支援事業の事業全体の概要について説明の後、それぞれの事業別に実施状況について説明を行い、委員からの質問や意見に対し、進藤が回答した結果を踏まえ委員が評価表の評価・検証結果フォームにより評価を行い、評価結果フォームの集計の後講評をまとめた。評価する項目については以下の内容である。

【経営発達支援事業の内容】

- ① 地域の経済動向調査に関する事
- ② 需要動向調査に関する事
- ③ 経営状況の分析に関する事
- ④ 事業計画策定支援に関する事
- ⑤ 事業計画策定後の実施支援に関する事
- ⑥ 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事
- ⑦ 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事
- ⑧ 経営指導員等の資質向上等に関する事
- ⑨ 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事
- ⑩ 地域経済の活性化に資する取り組みに関する事

事業ごとの評価

以下に事業ごとの評価を記載する（区分別の個別の内容については省略し判定を記載）。

【経営発達支援事業】

① 地域の経済動向調査に関すること

- ・国等が提供するビッグデータ・統計データの活用

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	A	A	C
必要性	A	A	A	C
有効性	A	A	A	C
効率性	A	A	A	C

- ・管内小規模事業者へのヒアリングによる業種別景気動向調査

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	S	A	A	B
必要性	A	A	A	B
有効性	A	A	A	C
効率性	A	A	A	C

	甲	乙	丙	丁
総合評価	A	A	A	C

【講評】

- ・改善点でもあり、情報の活用と効果を把握する必要があると思われ、その情報が積み重なることにより、会員企業様へも説得力のあるものになっていくと思われる。
- ・的確に会員に情報出来ている。
- ・情報収集を行い、的確に会員に情報発信できている。
- ・現在のデータ、特に国などのビッグデータが現状活用されているかを商工会でも把握できていないのは課題である。
- ・有効に活用する方法を検討し、案内することを検討してみる必要を感じる。

【事業の方向性】

縮小 0 条件付き維持 1 維持 3 拡大 0

② 需要動向調査に関すること

・商談会・展示会（BtoB 向け）での商品バイヤーへのニーズ調査

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	B	A	A
必要性	B	C	A	A
有効性	A	C	A	A
効率性	A	B	A	A

・販売会（BtoC）での一般消費者へのニーズ調査

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	B	A	A
必要性	A	B	A	A
有効性	A	B	A	A
効率性	A	B	A	A

	甲	乙	丙	丁
総合評価	A	B	A	A

【講評】

- ・町おこしという意味でも面白いところであるが、支援企業も一部にとどまっており、他商工会との連携など今後に期待する。
- ・商品バイヤーへのニーズについては小規模事業者では対象とならない場合があり、取り組み自体を見直してもよいのではないか。
- ・アンケート内容を見直して、効果を上げてほしい。
- ・今後も効率的支援を期待する。

【事業の方向性】

維持 2 条件付き拡大 1 拡大 1

③ 経営状況の分析に関すること

・通常の経営分析

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	B	A	B
必要性	A	B	A	B
有効性	A	B	A	C
効率性	A	B	A	C

・重点経営分析

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	A	A	B
必要性	A	A	A	B
有効性	A	A	A	B
効率性	A	A	A	B

	甲	乙	丙	丁
総合評価	A	A	A	B

【講評】

- ・補助金の申請者（利用者）には、健康診断受診を積極的にアプローチしてみたらよいのではないかと。
- ・重点経営分析先企業に対しては、しっかりとフォローを行い、分析が企業の支援に役立っているが、通常の経営分析に関しては会員企業等への啓蒙活動が必要と思われる。
- ・アンケート内容を更に見直して、効果を上げてほしい。
- ・通常の経営分析が金融の時に偏りがいないか、平時と思われるときや数値が改善して要る時にも、その要因分析が必要であり、実施を促していくことが望ましい。

【事業の方向性】

維持 4

④ 事業計画支援に関すること

・巡回・窓口相談（経営分析参加者）による事業計画策定件数

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	A	A	A
必要性	A	A	A	A
有効性	A	A	A	A
効率性	A	A	A	A

・事業計画作成セミナーを通じた事業計画策定件数

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	A	A	A
必要性	A	A	A	A
有効性	A	A	A	A
効率性	A	A	A	A

・創業塾を通じた事業計画策定件数

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	B	A	B
必要性	A	B	B	A
有効性	A	B	B	A
効率性	A	B	B	A

・事業承継アンケートを通じた事業計画策定件数

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	A	A	S
必要性	A	A	A	A
有効性	A	A	A	A
効率性	A	A	A	A

総合評価	甲	乙	丙	丁
	A	A	A	A

【講評】

- ・事業計画策定の為、多くの取組みをしていることは評価できる。
- ・様々な取組みは評価できる。創業塾については工夫され、成果が上がることを期待す

る。

- ・補助金等で計画に着手する事業者が多くなるのはやむを得ないが、巡回、相談からの事業計画策定に取り組む事業者が増加するよう取り組んで貰いたい。特に、巡回により事業承継のニーズの発掘に取り組んでもらいたい。
- ・事業計画策定支援に関し、全体の数値目標を上回っており、特に事業承継に関する件数が大幅に目標を上回っており、会員企業様の関心の高さがうかがえる。今後も継続して支援を行っていただきたい。

【事業の方向性】

維持 4

⑤ 事業計画策定後の実施支援に関すること

- ・通常先へのフォローアップ

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	B	A	B
必要性	A	B	A	B
有効性	A	B	A	B
効率性	A	B	A	B

- ・重点支援先へのフォローアップ

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	B	A	B
必要性	A	B	A	B
有効性	A	B	A	B
効率性	A	B	A	B

	甲	乙	丙	丁
総合評価	A	B	A	B

【講評】

- ・13社の具体的なフォローアップ支援が出来ており、会員企業様に多大な貢献ができています。一方で、人材、時間の確保の難しさは十分理解できるが、会員企業のスキルアップや効率化などで更なる貢献を期待する。
- ・事業計画策定セミナーを通じて策定した事業者へのフォローアップの頻度が減っているのが気になる。早め早めのフォローを。
- ・策定後の実施支援で助かっている事業者も多く、今後も継続してほしい。

・補助金申請書などのフォローはタイミングが分かりやすいが、過去の経営革新計画策定者の進捗フォローなどを行えば計画の有効性や効果の確認となり、新しい取り組みにつながると思われ実施が望まれる。

【事業の方向性】

維持 3 拡大 1

⑥ 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

・商談会・展示会への出展支援 (BtoB)

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	B	A	A	B
必要性	B	A	A	B
有効性	B	A	A	B
効率性	B	A	A	B

・即売会への出展支援 (BtoC)

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	B	A	A	B
必要性	B	A	A	B
有効性	B	A	A	B
効率性	B	A	A	B

	甲	乙	丙	丁
総合評価	B	A	A	B

【講評】

- ・商圏内の消費者への認知が十分でないのは、ターゲットの設定が明確になっていない可能性が考えられる。会員のターゲットを確認し、それに沿ったフォローを行うように検討してもらいたい。
- ・補助金の活用を通し支援されており、出展事業者様の成果もヒアリングできている。今後この経験を積み重ね、更なる支援に生かして貰いたい。
- ・数字が増えている分は評価できる。「IT活動度向上支援」について目標を定めるべきではないか。
- ・参加企業を増やすことを求めます。

【事業の方向性】

維持 3 拡大 1

⑦ 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関するもの

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	A	B	A
必要性	A	A	B	A
有効性	A	A	B	A
効率性	A	A	B	A

総合評価	甲	乙	丙	丁
	A	A	B	A

【講評】

- ・今まで通り、評価は必要である。
- ・一般の人が見やすいフィードバックを。
- ・現在のメンバーに加え、業種（製造業、小売業、サービス業など）のメンバーの意見を聞く機会としてもいいのではないか。
- ・会員事業者様の生の声（アンケートなどを通じ）等があるとより議論の場となれるのではないかと思う。

【事業の方向性】

維持 3 拡大 1

⑧ 経営指導員の資質向上等に関すること

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	B	A	A
必要性	A	B	A	A
有効性	A	B	A	A
効率性	A	B	A	A

総合評価	甲	乙	丙	丁
	A	B	A	A

【講評】

- ・今後も研修などを通じて、スキルアップ、商工会内での密な情報共有をお願いする。
- ・管内で新たな取り組みを行っている事業者とその支援を行っている経営指導員の発表会を行うなど、実際の事例を共有する勉強会などを検討してもよいのでは。
- ・情報の強化に励んでください。

・時代の変化とともに、知識取得も様々なものが必要となっており、自己研鑽だけでは難しい時代になっているように思う。他商工会、外部と連携強化により、深めていく必要があるのではないか。

【事業の方向性】

維持 3 拡大 1

⑨ 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	A	A	A
必要性	A	A	A	A
有効性	A	A	A	A
効率性	A	A	A	A

総合評価	甲	乙	丙	丁
	A	A	A	A

【講評】

- ・項目としてあるため、従来からの内容を続けているに過ぎないのではないか、商工会の限られた人材を会員のフォローに回してもよいのではないか。
- ・情報提供のみはオンラインも有効だが、意見交換はできるだけ実際に集合しての会議が有効と考える。
- ・今後も積極的に会議などにご参加いただき、積極的に情報収集を行ってほしい。
- ・他商工会との連会を深めてほしい。

【事業の方向性】

条件付き維持 1 維持 3

⑩ 地域経済の活性化に資する取り組みに関すること

区分	甲	乙	丙	丁
必要性	A	B	A	S
必要性	A	B	A	S
有効性	A	A	A	S
効率性	A	B	A	S
総合評価	甲	乙	丙	丁
	A	B	A	S

【講評】

- ・積極的に情報交流に努めてほしい。
- ・効率的に補助金を使ってほしい。
- ・取り組みとしての成果はあるが周知が十分とは言えない。町全体で関わっていくには地元事業者が積極的に参加したいと思われるイベントが欲しい。
- ・行政、各団体との連携が図られており、「駅前シャッターアート」「クリスマスイルミネーション」等、町民に喜ばれる事業も実施されており、今後も地域の活性化に努めてほしい。

【事業の方向性】

維持 4

総評

令和5年度はコロナ対策も継続しながらも、消費者のマインドは十分に回復したとはいえない中で、徐々に人の動きが戻り始めている。その影響がインターネット関連や巣ごもり需要などに現れており、一部の飲食店の利用者の増加などにも表れている。今後は新たな事業展開やインバウンド関連に需要が期待できる、一方で、まだまだ、経営の改善が進まず苦勞している事業者も多い。特に、コロナ禍時に、緊急避難的に利用したゼロゼロ融資の返済が始まり、財務状況が厳しい事業者も増えており、全国レベルで倒産件数も増加している。

前年度の宇美町商工会の支援においては、事業承継において高い効果が見られている。小規模事業者で後継者問題に悩んでいるがどこに相談したらいいかわからない人は多いと思われ、事業承継補助金の活用やIT化が十分でない事業者もいる中で新札対応なども必要とおもわれる。このような状況で商工会は、支援が必要な事業者への関りが重要と考える。今回の事業性評価では、販売促進イベントの再開や小規模事業者向けの補助金や経営革新計画策定などの申請支援等で商工会に相談に来る事業者も増える中、各種補助金の申請につなげるなど柔軟な対応が行われており、商工会の役割を十分に発揮してきたと考えられる。今後は、補助金の活用ももちろんであるが、事業の改善に寄与する経営革新への取り組みなどが必要と思われ、経営指導員などの経験やスキルのさらなる向上が必要となり、指導員自らが課題を認識して行う自己研鑽はもちろん、組織としての研修なども必要性が高まる。また、行政や近隣の他商工会との連携による取組は順調に効果が表れており、今後さらに情報共有や交流を行なうことで地域経済の活性化に資する取り組みが可能となると考えます。幸い、商工会と行政の関係性は良好で今後新たな支援策について模索して貰えるとのことであり、地域の事業者のさらなる支援に繋がる取り組みに期待している。

以上